

講義名	研究演習Ⅱ				
講義コード	45418	授業形態		開講期・曜日・時限	通年 木曜日 5時限
担当教員	竹内 信行			ナンバリング・コード	SEM350

学部・学科	演習分野
経済学部経済学科・経済情報学科	竹内ゼミナール（経済発展・国際経済・開発経済）

概要説明	
概要 世界には、日本のような経済大国から 1 日 2.15 ドル未満で暮らす人々がいる発展途上国まで、さまざまな経済状況の国が存在しています。それでは、なぜ、このような差が生じているのでしょうか？そして、経済発展を成し遂げるには何が必要なのでしょう？経済発展はこうした問いを考える経済学の一分野で、マクロ経済学 / ミクロ経済学 / 国際経済学などのトピックを幅広く含んでいます。本演習では、そうした経済発展論のテキストなどを、発表者の報告をもとにゼミ生全員でじっくり読み進めていきます。 わからないところはゼミ生メンバー全員（教員も含む）で教えたり教えられたりしながら、しっかりとした経済学の考え方を身につけていきたいと思います。座学が中心で派手手はないかもしれませんが、みんなで楽しく勉強などのゼミ活動をし、知識・よい人間関係・よい思い出を築いていきましょう。	
各年の計画 【研究演習 I】 統計学 or 経済学の基本書を輪読します ゼミ活動を通して学生生活や社会で必要となる PC スキル（表計算や文書作成など）を習得します 【研究演習 II】 「経済発展論・開発経済学・マクロ経済学・国際経済学といった経済学のテキスト」や「時事問題のテキスト」などを輪読します 【卒業研究】 各自、テーマを決めて卒業研究に取り組み、最終的には卒業論文を執筆します	※ 上記はあくまでも予定です。実際に何をやるのかはメンバー全員で相談しながら考えていきましょう
ゼミのすすめ方 毎回、発表者（2～3 名程度）に報告をしてもらい、それをもとにみんなで議論を行います 例：輪読の場合 （1 週間前）あらかじめ全員が各自でテキストを読み、わからなかった箇所などをまとめておきます （ゼミ当日）発表者がテキストの担当箇所を報告します → 発表者やゼミ生がわからなかったところをみんなで考えます → 最終的にはゼミ生全員がテキストの内容を理解できることを目指します	
過去の輪読テキストの例 - 平口良司, 稲葉大 『マクロ経済学 [第3版] : 入門の「一歩前」から応用まで』 有斐閣, 2023年. - 黒崎博, 栗田匡相 『ストーリーで学ぶ開発経済学 途上国の暮らしを考える』 有斐閣, 2016年. - ハンス・ロスリングほか 『FACTFULNESS』 日経BP, 2019年. - 西嶋浩, 初級 統計分析 新世社, 2012年. - 稲葉大, 『Excel で読み取る経済データ分析』 新世社, 2013年. - 大竹文雄(編) 『こんなに使える経済学 ― 肥満から出世まで』 筑摩書房, 2008年. - 日本ニュース時事能力検定協会 『ニュース検定公式テキスト「時事力」発展編』 毎日新聞出版.	

主な卒業論文のタイトル

「キャッシュレス事業の今後」
「世界的に見た日本のキャッシュレス普及度の現状と今後の展開」
「日本の少子化政策について ― 出生メカニズムや国際比較を通した分析 ―」
「野球における最速打順の評価」
「なぜ若者は結婚を選択しなくなったのか？」
「流行の音楽の傾向と経済状況の相関性」
「不登校の理解と居場所」
「本校学生の労働意欲調査」
「e スポーツを活用した地方創生は可能なのか？」
「台湾半導体産業への対外投資に関する米中戦略競争下考察 ― TSMC を例として ―」
「親馬の血統は大事なのか？」
「アジア労働市場の性差と経済成長」
「犯罪者は道徳もしくは環境で作られるのか」
「なぜ外国人労働者は日本の経済発展に重要な役割を果たしているのか？」
「e-スポーツが地域に及ぼす影響と持続性の課題」
「デジタル経済発展の地域格差と伝統産業との融合 ― 日中比較と政策的示唆 ―」

教員よりの要望

「一言」
ゼミ活動はメンバー全員（教員も込み）で作り上げていくものです。学生生活を楽しく気持ちよくすごせるよう、よいゼミを作っていきましょう。

「こんな方をお待ちしています」

- ・ 経済発展や国際経済、発展途上国の問題に関心がある方
- ・ 委に気取らず / 素直に / マジメに / 地道に、ゼミ活動に取り組める方
- ・ 失敗を過度におそれない方、また他人の失敗に寛容な方
- ・ 相手の考えを理解・尊重しながら、ともに議論や意見交換、行動ができる or しようとして努力できる方

「思ってたゼミと違う!」というミスマッチが学生と教員の双方にとって最大の不幸です。
そうした事態を避けるため、以下の手順で選考を行います。

1. ゼミの個別ガイダンスに必ず出席してください。事前に教員と一度も話したことがない方が応募した場合は、入ゼミをお断りする場合があります
2. その上で「このゼミならがんばれそうだな」と感じた方は、ゼミ申込書をしっかり記入し申し込んでください
3. 申込書、成績および面接により選考します

評価方法	
出席状況、演習での発表・参加姿勢、提出課題から総合的に評価します。 また、発表担当時の無断欠席など、セミナーメンバーの迷惑になる行動や "あまりに" 非常識な行動に対しては厳しい判断をします（そうしたことが起きないことを切に願います）。	
教員英字氏名	
TAKEUCHI, Nobuyuki	研究室
研究棟 II 2606	
最終学歴	
神戸大学大学院国際協力研究科博士課程後期課程 修了	
学位	
博士（経済学）	
主な研究活動・社会活動・研究業績	
[主な研究活動] 経済発展論・国際経済学に関する研究を行っています	
[主な研究業績] ・「工業化と政府の役割：小国開放経済のケース」『国際協力論集』18(3), 81-105 (2011). ・「Reconsidering the Effect of Economic Development on Urban Unemployment under Nonhomothetic Preferences.」Economics Bulletin, 35(1), 313-321 (2015). ・「要素蓄積、技術進歩と都市失業－Harris-Todaroモデルによる分析－」『国際協力論集』24(2), 39-75 (2017). ・「Skill Diversity と貿易パターン：Grossman and Maggi (2000) の命題4に関する一考察」『国民経済雑誌』223(5), 33-45 (2021) (共著).	
趣味・特技	
[趣味] おしゃべりをする事 / のんびり一日を過ごす事	
[特技] 何か身に着けたいとは思っていますが、現在のところ特にありません（何かおススメがあれば教えてください）	
所属	
経済学部経済学科	
所属学会	
日本国際経済学会、国際開発学会	
専門分野	
経済発展論、国際経済学	
担当科目	
マクロ経済学、経済数学、国際経済論、基礎能力（新聞を読む）	
備考	
実務経験の有無及び活用	